

第1回「シーズ発掘・橋渡し研究事業」等  
研究資金制度プログラム 終了時評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成29年11月13日(月) 10:00~12:00

2. 場 所 経済産業省別館2階232会議室

3. 出席者

(検討会委員)[敬称略・五十音順、※は座長]

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 伊藤 洋一  | 株式会社 IBLG (アイデア・バンク・リエゾンセンター) 顧問 |
| 菊地 博道  | 国立研究開発法人科学技術振興機構イノベーション拠点推進部専門役  |
| 田路 則子  | 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 所長      |
| 丸山 正明  | 技術ジャーナリスト、大阪大学大学院非常勤講師           |
| ※四元 弘毅 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 企画本部副本部長       |

(事務局)

産業技術環境局技術振興・大学連携推進課 大学連携推進室

|        |        |
|--------|--------|
| 室長     | 飯村 亜紀子 |
| 室長補佐   | 船橋 憲   |
| 室長補佐   | 田村 直寛  |
| 係員     | 小野木 理紗 |
| 係員     | 大槻 衆   |
| 産学連携担当 | 小野 マリ  |

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

|      |       |
|------|-------|
| 室長   | 竹上 嗣郎 |
| 室長補佐 | 齋藤 充  |
| 室長補佐 | 松島 隆男 |

4. 配布資料

資料1 評価検討会委員名簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

- 資料 3 経済産業省における研究開発評価について
- 資料 4 評価方法（案）
- 資料 5 制度の概要
- 資料 6 評価用資料
- 資料 7 技術評価書の構成について
- 資料 8 評価コメント票
- 参考資料 1 経済産業省技術評価指針
- 参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準
- 参考資料 3 事前評価報告書（平成 26 年 2 月）
- 参考資料 4 採択事業者一覧表

## 5. 議事概要

### （1）座長選出

委員の承認によって、四元委員が本検討会の座長に選出された。

### （2）評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨は、原則公開とすること、ただし知的財産権の保護等の観点に触れる場合には一部非公開とすることが了承された。

### （3）評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、7、8 により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

### （4）制度の概要について

事務局から、資料 5、6 により、「シーズ発掘・橋渡し研究事業」等研究資金制度プログラムの概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・「マッチング」の定義について委員から質問があり、事務局から大学と企業との共同研究などで、文書による契約は要件とはしていないとの回答があった。
- ・委員からシーズ活用事業の予算執行率が低い理由について質問があり、事務局から当初の計画通りに進まなかった事業者が複数あったとの回答があった。
- ・委員から、ここでいう「論文」とは査読がされている学術論文のことかとの質問があり、事務局から査読付きに限らず、一般的な論文集などを含むとの回答があった。
- ・「事業化」の定義について委員から質問があり、事務局から製品として市場に供給されたもので、有償サンプルは含まないとの回答があった。
- ・委員からシーズ発掘事業について、事業に参加している人材がそれぞれ役割を果たすようどこが責任を持って取り組んでいるのかとの質問があり、事務局からコンソーシアムのコア機関がまとめているとの回答があった。

- ・ 委員から、全国展開のためのセミナー等の実施態様について質問があり、事務局から関係大学での成果発表などである旨の回答があった。

(5) 今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成29年11月27日とすることを確認した。また、第2回評価検討会は書面審議にて行うこととなった。

(6) その他

特になし。

以上